

「福井ふるさと元気宣言」推進に関する政策合意

私は、知事の政策スタッフとして、「福井ふるさと元気宣言」に掲げられた政策等を実現するため、次に掲げる施策・事業について重点的に実施することを西川一誠知事と合意します。

平成 27 年 7 月

福 井 県 知 事 西 川 一 誠

土 木 部 長 浦 真

27 年度目標（30 年度目標）

27 年度の施策

1 美しい県土、楽しく便利なまちの形成

◇高速交通ネットワークの完結促進【部局連携】

○中部縦貫自動車道の整備促進

- ・永平寺大野道路については、平成 28 年度開通予定の永平寺・上志比間の工事促進を国に要請し、一日も早い全線開通を目指します。
- ・大野油坂道路については、北陸新幹線敦賀開業に合わせた全線開通を国に強く要請し、一日も早い全線開通を目指します。
- ・大野油坂道路の大野東インターチェンジ（仮称）から下山インターチェンジ（仮称）間については、平成 28 年度の荒島第 2 トンネルなどの着手を国に働きかけ、大野東・和泉間の早期整備を目指します。

○若狭さとうみハイウェイの機能強化

- ・舞鶴西・敦賀間の 4 車線化を国と高速道路株式会社に要請し、早期着手を目指します。
- ・平成 28 年度供用予定の敦賀南スマートインターチェンジ（平成 26 年度着工）と平成 29 年度供用予定の三方 P A スマートインターチェンジ（仮称）の整備促進を国と高速道路株式会社に要請し、早期供用を目指します。

◇道路・港湾の重点整備と利用促進【部局連携】

○主要道路・県境道路の整備

- ・北陸新幹線、中部縦貫道など高速交通体系に関連する勝山インター線などの基幹的な道路を最優先に、県民の安全と利便性、地元や市町の協力体制なども考慮し、優先度をつけて**計画的に整備**します。
(平成 23～26 年度供用開始 24 箇所)

1 箇所（4 年間計 13 箇所）

- ・福井港丸岡インター連絡道路については、測量・設計を進め、用地取得を開始します。
- ・福井森田丸岡線については、新九頭竜橋の下部工工事および中藤島地区の道路改良工事に着手します。
- ・国道 8 号敦賀市田結～元比田間のバイパス整備について国に要請し、直轄事業としての早期着手を目指します。
- ・県境道路である国道 4 1 7 号冠山峠道路については、今年度から岐阜県側においてもトンネル工事に着手するよう国に要請し、早期完成を目指します。

○敦賀港・福井港の機能強化と貿易拡大

- ・敦賀港鞠山南国際ターミナルの第 2 期工事を促進するため、新幹線工事などの建設発生土を利用し埋立工事に着手します。
- ・敦賀港鞠山南地区の岸壁整備については、国との協議会を毎月開催して事業計画の熟度を高め、直轄事業としての採択を目指します。
- ・敦賀港において大型客船が安全に入出港するために必要な基準の検討や施設整備の調査を実施します。
- ・福井港では、九頭竜川からの流入土砂対策として、来年度着工に向けて北防砂堤の詳細設計を実施します。

◇電車・バス・自転車の利活用拡大【部局連携】

○福鉄・えち鉄の高機能化

- ・えちぜん鉄道の高架化について、9月末に新幹線高架の線路（仮線）を利用した運行を開始し、平成30年の福井国体までの完成を目指し工事を進めます。

○自転車道路の計画的整備・延伸

- ・既存の自転車道や観光道路に路面標示を行い、サイクリングコースのネットワーク化を進めます。（平成26年度末 累計158km）

20km増 累計178km（累計258km）

2 原子力・エネルギーの確かな将来展望と地域振興

◇「安全最優先」の原子力行政【部局連携】

○原子力災害制圧道路等の整備促進

- ・新設する道路について、竹波立石縄間線のトンネル（敦賀市立石～敦賀原発間）と佐田竹波敦賀線の2本のトンネル（美浜町北田～竹波間）の工事に新たに着手します。

3 日本一の安全・安心（治安充実から治安万全へ）

◇あらゆる災害対応を迅速第一【部局連携】

○除雪対策の徹底

- ・パトロール、支障木の事前伐採、国、高速道路株式会社、原子力事業者等との情報共有など、これまでの大雪時の課題を再点検し、一層の除雪対策を11月までに進めます。
- ・交通の要所である敦賀市～越前市間の高速道路および国道において、除雪体制の充実・強化を図ります。
- ・緊急医療施設周辺道路、最重点除雪路線、緊急輸送道路などについて順次消雪施設を整備します。（平成26年度末 累計343km）

4km増 累計347km（累計359km）

○インフラの長寿命化対策

- ・ 橋梁、トンネル、ダム、河川の排水機場、砂防施設、下水道施設、港湾施設などインフラの定期的な点検結果に基づく維持・補修による長寿命化対策を進めます。
- ・ 炭素繊維大手企業との共同研究により、強くて軽い補強部材を用いた橋梁補強技術の開発を支援します。
- ・ 専門的な外部講師を招聘し、道路メンテナンス研修の充実を図ります。

○足羽川ダムの建設促進

- ・ 足羽川ダムについては、ダム本体掘削に向けて、平成30年度までに工事用道路と仮排水路トンネルを完成できるよう国に強く要請し、平成38年度の完成を目指します。

○河川の災害対策

- ・ 河内川ダムについては、付替えの必要な県道河内熊川線を今年度に完成させ、本体コンクリート打設を進めます。
- ・ 吉野瀬川ダムについては、用地取得を進めるとともに付替えの必要な県道武生米ノ線の整備を進め、事業の推進を図ります。
- ・ 近年に浸水被害が発生した区間、想定氾濫区域内に家屋が集中している区間などを**重点的に整備**します。(平成23～26年度 4,368m)

800m (4年間計 3,500m)

- ・ 洪水により甚大な浸水被害が生じるおそれのある河川について、迅速な住民避難につながる情報提供を行うため、**監視カメラを増設**します。(平成26年度末 累計16箇所)

2箇所増 累計18箇所 (累計25箇所)

○土砂災害対策の推進

- ・土砂災害警戒区域において土砂災害から保全する人口を増やすため、砂防堰堤、急傾斜地崩壊対策施設などの整備を進めます。
(平成 26 年度末 累計 35,323 人)

237 人増 累計 35,560 人 (累計 36,500 人)

- ・早期の住民避難に資するため、詳細な防災情報を提供するとともに、市町と連携し土砂災害を想定した避難訓練を継続して実施します。
- ・防災意識の向上を図るため、地域住民を対象とした土砂災害講習会や小学生を対象とした防災出前授業を開催します。

○空き家対策の強化

- ・中古住宅の流通を促進するため、「福井県住宅診断制度」の実施やふくい空き家情報バンクへの登録を促します。
(平成 26 年度新規登録 83 戸)

100 戸

◇「安全・安心ふくい」確立プラン【部局連携】

○通学路や高齢者の安全確保

- ・市町のエducation委員会や警察署と協議を進め、道路の通行区分を見直し、自転車安心通行帯を確保します。

4 人口減少に歯止めをかける徹底戦略

◇日本一の「結婚・子育て応援社会」【部局連携】

○ふくいの住まい総合支援

- ・U I ターン者が入居する一戸建て住宅の購入やリフォーム工事への助成を行います。(平成 26 年度 ー)

20 戸

- ・多世帯同居・近居に必要な一戸建て住宅のリフォーム工事や取得費用への助成を行います。(平成 26 年度 20 戸)

50 戸

5 豊かな環境、すぐれた風景を次の世代に

◇景観を県民資産に【部局連携】

○「わがまち景観」の保全・継承

- ・道路周辺の景観を改善するため、**道路標識柱等の集約化**を行うとともに、**標識の撤去**を進めます。（平成 23～26 年度 71 箇所）

10 箇所（4 年間計 40 箇所）

- ・福井国体の開催や北陸新幹線の県内開業に向け、観光地やまち並みなどの良好な景観づくりを推進するため、屋外広告物条例等の設置基準を見直します。
- ・足羽川において水辺に親しむイベント、川遊び、釣り体験などの**親水活動**の定着を図るとともに、舟着場を活用した毛矢の漕舟体験を実施します。（平成 26 年度参加者 4,416 人）

5,000 人（6,000 人）

- ・北陸新幹線等大型工事により生じる建設発生土の需給調整を行い、さらにトンネル掘削土を敦賀港鞠山南 2 期工事に再利用するなどにより、土砂採取による山の切り崩しを抑制し景観を保全します。
- ・計画的に**河川の浚渫**や伐木を実施するとともに、浚渫土砂の新たな利活用策を検討するため産学官連携による検討会を 9 月頃に設立します。（平成 26 年度 3.8 万 m³）

4.0 万 m³

○三里浜緑地の利活用推進

- ・身近に緑の自然景観を楽しめるよう、緑地内の環境改善を行い、利用しやすい環境づくりを進めます。
- ・健康づくりのためのウォーキングや子供たちの自然学習の場として自然観察会などを開催し、自然とふれあえる活動を展開します。
- ・地域の観光振興につながるよう、緑地内に海や三里浜砂丘地を眺望できる場所を整備し、「道の駅」などと連携した利活用を進めます。

◇低炭素のまちづくり推進

○環境に調和した研究の推進

- ・建設技術研究センターにおいて道路の長寿命化のため、橋梁のコンクリート床版や道路舗装を簡易かつ安価に診断し、劣化状況に応じた補修方法の開発を進め、実証試験を行います。
- ・アスファルト廃材の軽減のため、舗装のひび割れに接着剤を注入する予防保全的な補修方法の開発を進め、施工機械を試作し、性能試験を行います。
- ・農業ハウス倒壊の未然防止や効率的な除雪体制に活用するため、福井独自の降雪予測システムを開発します。

6 高速交通時代にブランド・観光オンリーワン戦略

◇観光フロンティア・福井【部局連携】

○100万人観光地の創出

- ・永平寺町において、町が整備する観光や農産物販売の拠点となる地域振興施設と合わせて、「道の駅」を供用開始します。
- ・「道の駅」をより魅力的な観光や地域振興の拠点とするため、県内の「道の駅」が連携し、利用客の拡大を図ります。

7 行財政構造改革

◇150億円の「政策推進枠予算」を確保【部局連携】

○県有地の売却・利活用

- ・宅地建物取引業者間のネットワーク、インターネット公有財産売却システム等を活用し、**県有地の売却や利活用**を進めます。
(平成26年度 4区画)

4区画（4年間計12区画）